



- 木戸先生が、リウマチについて専門にしておられると聞いて、免疫について特に興味があるので、とても参考になった。また、漢方については、自分で研究をしたことがあり、それぞれの成分がどこに作用するのは、私も研究したいと思った。
- 質問しやすい雰囲気、質問の答えもとても良くてよかった。
- 自分と年齢が近い大学生もいて、医学部生としての日常や勉強のことまで色々なことを聞いて良かった。
- 先生方の話も学生さんの話もすごく勉強になった。
特に木戸先生の病死を一概にネガティブなことと捉えるのではなく、貴重なデータになり得るなどポジティブな面で見ることによって自分のやりがいにもなり、医療の発展にも繋がるという考え方が将来自分が医療現場で働くようになったときには、助けになるだろうと思った。
- 現場で働いておられる先生や教員の方々、現役の学生さんからの話を聞いて、みなさんが大きな目標をもっておられてとてもカッコいいなと思った。また、これからどうやって勉強すればよいかや、どんな進路選択をすればよいかなど目標を持つことができた。

来年度の開催に向け、運営・企画など、全体を通じて良かったと感じたことがあれば自由にお書きください

- 手を上げるよりも手のグッツをあげる方がハードルが低く質問しやすかったのでありがたかった。
- 駐車場からの道順だけでなく、バスからの道順もすこしあるとありがたいなと感じた。
- 番号札形式は面白くて良いと思った。また、運営もスムーズで良かったと思う。
- あまり人前で話すことが苦手な人も終わった後、質問をしながら行けるというところがあったととても良かったなと思ったし、先生や学長、生徒さんに直接この場でしか聞けないことを聞けることができてとてもいいと思った。
- 座談会の内容が良かった。
- みなさんの温かい雰囲気のおかげで質問しやすかった。
- 参加人数が少なかったため、質問しやすかった。
- 大学になってからの状況を聞いて良かった。生物もしっかり勉強しようと思う。他のことについても対策していきたい。
- トイレが綺麗、設備が綺麗、プロフェッショナルな人が多い。トートバッグやお茶がもらえる、プロジェクターや説明が分かりやすい。
- 個別相談会が、個人的な質問について聞いて良かった。
- 初めて挙手する人が分かりやすくなっていて素晴らしい工夫だと思った。全体を通してスムーズな進行で、楽しく、有意義な時間になった。
- 挙手の仕方が分かりやすくて良かった。
- 気軽に質問できる環境がとても良かった。
- 先生方のスライドも見やすく、興味深いものばかりだった。
- 生徒が質問する環境が整っていて、普段は接する機会がない方々のお話が聞いて良かった。
- 手を上げる時の番号の札がスムーズに運営できていて良かった。
- 司会の方の進行がとてもスムーズで良かった。



- 私は全員の前で質問をすることが怖くて出来ませんでしたが、座談会後に個別で質問をする機会を設けて頂いたおかげで、聞きたいことを聞くことができたので良かったです。
- 最後の個人面談で大勢の前では言えない悩みなどを話せてよかった。

来年度の開催に向け、運営・企画など、全体を通じて改善すべきと思われる点があれば自由にお書きください

- 学生さんも先生方のような紹介があるとありがたいと思った。
- もう少し医療自体の内容があっても面白いと思った。
- マイクの音量が小さかったので、聞こえづらい部分があった。
- もっと多くの生徒が能動的に講義に参加できるように高校生同士のグループワークの時間などを設けてもいいと思った。

最後に、富山県の医療や医薬品産業の未来に期待することを自由にお書きください

- 今現在、医薬品産業で問題となっている工場があるが、国や県の指定された生産方法で安全に生産して欲しい。
- 地域密着型、患者さん一人一人に向き合う医療へとなることを期待する。病気をネガティブなものではなく、ポジティブなものへと変えていけるようにすることが大切だと、今日の座談会で感じた。
- 小さい子供や、現在治療法が確立していない疾患への治療薬や、治療方法が確立すればいいなと思う。また、学長さんが仰っていた産後うつ等の自殺率が少しでも減少できるような患者さんや、その御家族への精神面でのサポートもより充実したらより良い医療になるのかなと思った。
- チーム医療としてより良い医療や医薬品の開発に日本だけでなく海外とも連携して積極的に取り組んでほしい。また、優秀な人材育成のため、より充実した学習環境の整備を期待している。
- 富山の特性を生かした地域医療、チーム医療のさらなる発展や漢方薬を始めとする薬の開発に期待したい。
- 癌患者の生存率向上、治療法が確立されていない病気の解明に期待したい。
- 富山の素晴らしい医療技術や薬が世界に広まり、医療をさらに進歩させること。
- 漢方が色んなところで活用されていることに驚いた。富山から漢方による治療を全国、あるいは世界へ広げられるのではないかと感じた。
- アルツハイマー病に対する治療薬が実用化してほしい。
- 高齢化や高度医療化が進んでいく中で訪問医療や郊外の人に向けた医療がもう少し充実して欲しい。
- 人口が減少し、高齢化が進んできているが、地域全体で、住民の健康を支えていける富山県になることを期待する。産後ケアセンターが富山からできたように、富山から、特に地域の声を生かした医療が発展すればいいなと思う。
- 富山県は薬のイメージが強いので富山で開発された薬をこれからもどんどん世界へ普及させてほしい。

国立大学法人富山大学 くすり産業創生事業本部
(研究振興部 社会貢献課)

県内高校生
53名が参加

第3回 かけがえのない「いのち」を守る座談会

富山大学医学部・薬学部の先生方、
大学生との“直球”キャッチボール！

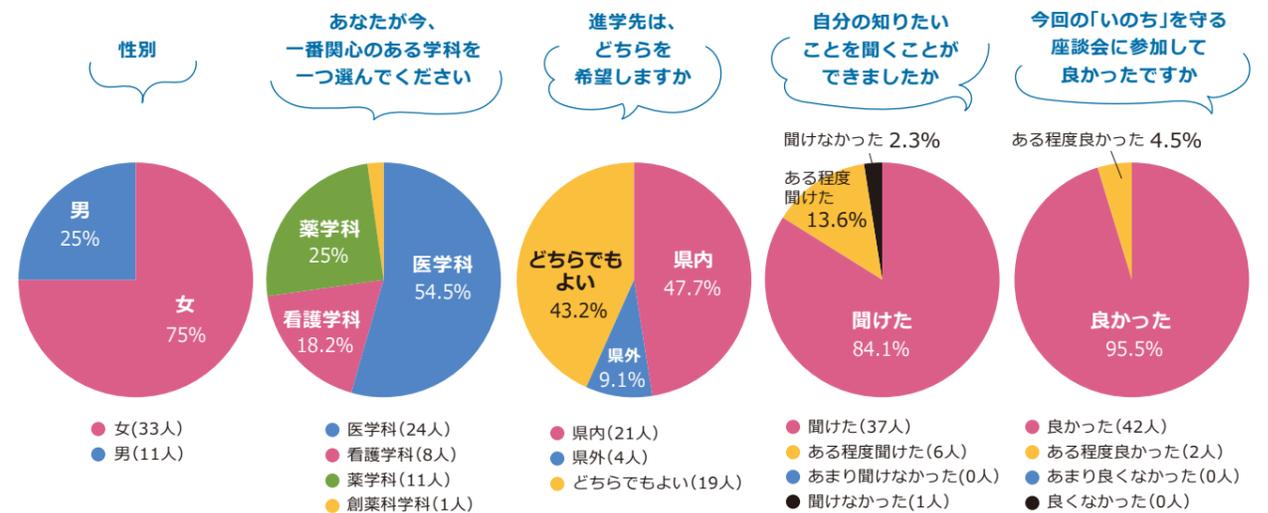


報告書

11月13日、第3回かけがえのない「いのち」を守る座談会が富山大学(杉谷キャンパス)で開催されました。県内の医療や医薬品産業への関心を高めてもらい、未来の先端医療を担う有能な人材育成につなげることを目的に、本学と「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムの主催で開催し、医師や看護師、薬剤師などを目指す県内高校1、2年生53名が参加。齋藤学長や医学部、薬学部の教員・学生との活発な語らいが展開されました。

- ◆日時 2022年11月13日(日) 13:00~16:30
- ◆場所 富山大学杉谷キャンパス
- ◆対象 県内高等学校1~2年生(40名程度)
- ◆スケジュール
12:30~12:50 受付(日医工オーディトリウム)
13:00~13:05 開会の挨拶
————— 第1部 —————
13:05~13:35 学長講話
13:35~14:10 学長と語り合おう
14:10~14:20 休憩
————— 第2部 —————
14:20~16:10 パネルディスカッション
一緒に「いのち」について考えよう

座談会参加者アンケート（回答数 44人）



参加高等学校 / 魚津高等学校 片山学園高等学校 呉羽高等学校 高岡高等学校 高岡南高等学校
高岡第一高等学校 砺波高等学校 富山高等学校 富山第一高等学校 富山中部高等学校
富山東高等学校 南砺福野高等学校

高校生からは、医療やくすりの研究などについての質問が寄せられ、「いのち」を守る「医学・薬学・看護学」への理解が深まる一日となりました

【第1部】学長講話



齋藤学長は、「これからの医療のあり方」と題し講演。「救命するだけ」の医療から、「侵襲を少なく治療し、治療後のQOLを高める医療」に変わりゆく現在の医療が紹介されました。また、それらの医療の実践には、個人プレーの医療ではなく、医師、薬剤師、看護師、技師、公認/臨床心理士、栄養士などが連携するチーム医療の重要性が語られました。



学長と語り合おう



医師を目指す高校生から「これからの医師に求められるスキルは何か」「高校生時代にしておくべきことは何か」などの質問が寄せられ、自分からは高校時代を振り返りながら、臨床現場の経験を踏まえ、苦手科目の克服、読書、体力をつけるスポーツが大切であると語られました。

【第2部】パネルディスカッション「一緒に『いのち』について考えよう」



パネリストには若手教員の木戸診療助手(附属病院)、桶本准教授(看護学科)、沖津准教授(薬学部)、楊助教(和漢医薬学総合研究所)に加え、医薬系の学生4名が登壇。全員から仕事や学科を選んで良かったことや将来の夢などが発表された後、参加していた高校生から次々と質問が出され、仕事のやりがい、勉強の仕方、学生生活の状況など、活発に質疑応答が繰り広げられました。



- ◆オブザーバー 齋藤学長、細谷副学長
- ◆パネリスト 【教員】木戸診療助手、桶本准教授、沖津准教授、楊助教
【学生】西岡さん(医4年)、山越さん(看4年)、杉野さん(薬6年)、加藤さん(D2年)



個別相談会

座談会終了後、別会場にて個別相談会が行われました。場内には、パネリストの若手教員と学生たちのブースが設けられ、相談につめかけた高校生で熱気にあふれていました。

参加者からは、「大勢の前では聞けなかったことも、個別に詳しく聞いて良かったです」との声が寄せられました。



座談会参加者アンケート(自由記述)

「学長講話」、「学長と語り合おう」について、ご意見や感想等を自由にお書きください

- 一人の患者さんを治療するためにさまざまな医療関係者の方々が治そうと努力してくださっているおかげで我々に医療が提供されていると思った。
- 富山大学は薬を作るところから治験までできると分かり、より興味を持った。大学に入った際には、最新の薬や医療技術を駆使しながら学べることに魅力を感じた。
- 医療の進化など詳しく知らなかったことや科ごとの詳しい説明など、パンフレットだけではわからないところを教えてくださいととてもいい機会になった。
- 現在の医療が、個人ではなくチームで協力する医療であることが、とても印象に残った。チームの中で自分の考えも出しつつ、調和するコミュニケーション能力の必要性を感じた。また、精神的な医療についてとても興味が湧き、患者の心をケアする看護師になりたいと思った。
- 今現場で起こっていることを知る貴重な体験だった。日本の医療制度の凄さやチーム医療についてのお話も大変興味深かった。
- 学長がなぜ医学部を選び産婦人科を選ばれたのか、その背景など普段聞けないことを深く知ることが出来てとても興味深かった。
- 医療が進歩してきた過程を知り、これからはさらにより良い医療を提供できるようにしていかなければならないと感じた。また生涯学習の必要性が分かり、自分の興味を一生かけて楽しみながら学びたいと思った。
- 医療の進歩を年表で見れて、分かりやすかった。私も学長のように興味を持って就きたいと思える職業を見つきたい。
- 非常に分かりやすい内容で楽しく受けることができた。
- 学長に気軽に質問ができる環境になってとても良かった。
- 医学に関する知識がより深まったし、富山大学の魅力や特色も分かり、富山大学に進学したいと改めて感じた。
- これまで読書をほとんどしてこなかったが、読書の重要性を感じ、活字をたくさん読むことを頑張りたいと思った。
- 医療技術の進歩により救命だけでなく精神的ケア、そしてチーム医療が進んでいることを知った。患者とも仲間ともコミュニケーションが必要になることから日頃からたくさんの人との会話を大切にしたい。
- 学長の過去の経験を通して、これからの時代において医師が求められるスキルについて知ることができたので、良かった。21世紀の医療について、癌の治療法の進化のがん免疫について興味をもった。また、膵臓がんや乳房再建手術など、富山大学が得意としていることについても知ることができた。
- 生涯学び続ける姿勢を持つということが医療人として大切という点が特に印象に残った。医療の進歩の上でただ助けるだけでなくその後の未来を見据えた医療を提供すること、チーム医療で専門的に患者さんに合わせた医療を提供することなど大切なことを教えていただいた。英語がこれからの医療の進歩の上で大切だと聞いたので今から頑張っていこうと思う。また、創薬科学科についても詳しく教えていただきとても参考になった。
- 知りたかったことや、知らなかったことが聞けて参加して良かった。
- 経験豊富である学長のお話はとてもおもしろかった。
- 現在の医療において必要なことは医療関係者がチームで医療を

している自覚、患者さんや妊婦さんの心のケア、将来を見据えた治療方法を確立することだと分かった。またコミュニケーション能力と幅広い教養を携えることの重要性を知ることができたので沢山本を読んでいきたい。

パネルディスカッションについて、ご意見や感想等を自由にお書きください

- 漢方学があるのを初めて知り興味が湧いた。
- 現役の学生の方や先生方のお話を聞くことができ、とても貴重な時間でした。大変多くのことを学ぶことができた。
- 先生方や学生さんへから、苦手科目の対策法や、自分の聞きかたかったこと、富大の魅力を知ることができた。
- 先生方がどんな考えで、どんな意識を持って自分の仕事、研究に取り組んでいるのかが知れてよかった。また、学生さんの貴重なお話を直接聞くこともでき、素晴らしい時間を過ごすことができた。
- 薬剤師を小学校から目指していたが、高校受験で失敗して自信を失っていた。今日先生や生徒さんの話、周りの高校生の質問などを聞いて落ち込んでられないと改めて感じた。
- 苦手教科である英語について、「勉強しなきゃいけない」とただ思うのではなく、「〇〇がしたいから、勉強しなきゃいけない」というふう目的を持った方法で勉強するとい、というお話にとっても納得した。
- 丁寧に答えてくださり、とても嬉しかった。また、温かい雰囲気の中で質問をすることができて良かった。
- 医師、研究者、看護師、薬剤師それぞれの職業でしか味わえないやりがいを知ることが出来て良かった。
- どの質問にも、とても丁寧にそして分かりやすく答えてくださり、自分の中で夢に対する考えがより具体的になり良かった。
- 医療看護の全ての面から意見を聞くことが出来て良かった。仕事でつらいことがあってもそれを糧にして挑戦し続けている先生方の意志の強さに感銘を受け、自分もそのような医療従事者になりたいと思った。
- 話が上手な人ばかりで、全ての質問に詳しく答えていただいて良かった。
- 大学入試を受けるにあたってや、医療の仕事に就く上でのモチベーションの持ち方を知れて良かった。
- 志望動機や職業内容を聞いて、より興味を持つことができた。
- 自分が大学に抱いていた疑問を全て解消でき、非常に良い経験となった。
- 医療関係者として働くことや大学生活について知ることができてよかった。勉強の仕方なども聞くことができてとても参考になった。
- 自分が志望している学部以外の学部の話も一度に聞けて、詳しく知ることができ、よい機会になった。
- ユニークな先生方がおられて、とても楽しい時間でした。気軽に質問ができて良かった。
- 先生方は苦労や辛さを味わいながらも患者のためにやりがいを持って働いておられ、ますます医者になりたいと思った。医者になった時は相手中心で考え、生涯勉強で頑張りたい。
- 実際に学生さんや先生方の経験談を交えて詳しいことまで丁寧に教えてくださって医・薬・看護のそれぞれの魅力を知ることができた。私は、どの分野にも興味があって中々決めかねているのですがとても参考になった。また、高校の先輩がおられたので相談しやすかった。